

令和5年度(第13期)事業計画

(令和4年10月1日～令和5年9月30日)

公益財団法人
松下社会科学振興財団

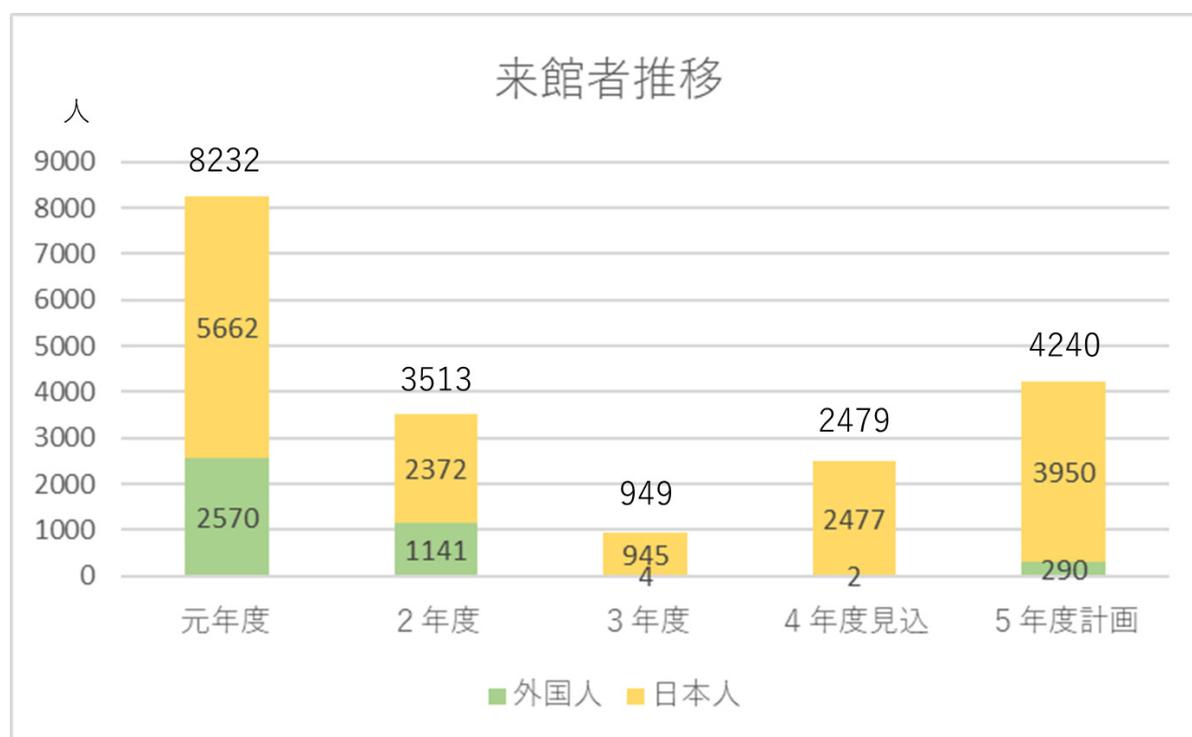
松下資料館
Matsushita Memorial Library

【はじめに】

公益財団法人松下社会科学振興財団は、平成22年9月22日に京都府より財団法人から公益財団法人への移行の認定書を受理し、今年度は第13期を迎えます。

平成6年に松下幸之助生誕100年を記念して開設された「松下資料館」の管理と運営を活動の主体としております。

令和2年3月に始まった新型コロナウイルスの感染拡大により、松下資料館の来館者数は減少しておりましたが、ようやく反転のきざしが見え、令和4年度の来館者数見通しは2,479人の予定です。(下記グラフ参照)

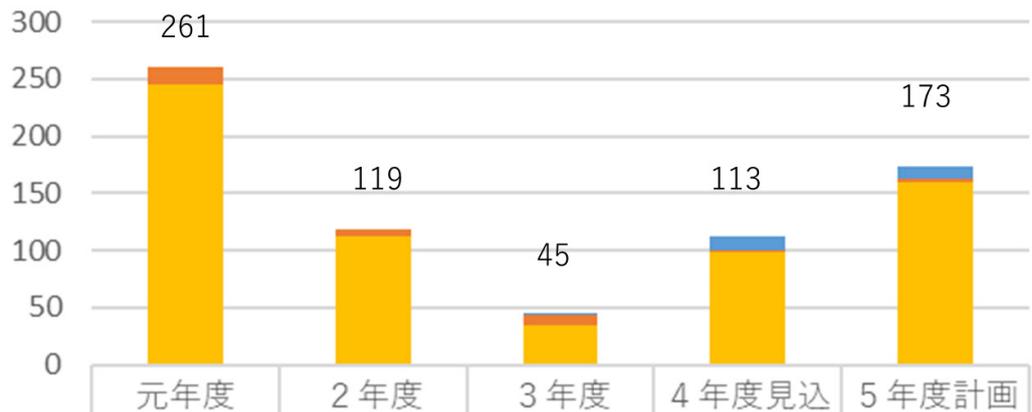


インバウンド解禁に伴い、海外からの来館者も令和5年度に増加する見込みです。

来館者の増加に伴って、5人以上を対象にしたリアル講話も回復傾向にあり、新型コロナウイルス蔓延対策として実施したオンライン講話の回数も微増しております。また人気があります海外の方々向けの講話回数も次第に復活することと思われま

(次ページ グラフ参照)

講話回数



■ オンライン	0	0	1	12	10
■ 出張	15	7	9	2	3
■ リアル（館内）	246	112	35	99	160

また、恒例の「新入社員 合同学びの会」の実施、および2年間中止となっておりました教養講座を令和4年度に3回実施できる見通しです。

令和5年度は、来館者増を見込みつつ来館者の対応を行いながら、次のような活動を実施してまいります。

- 教養講座 2回実施
- 「新入社員 合同学びの会」実施
- 庭園シアター用映像「感謝の心」（4か国語対応）完成
- 映像ブース用映像を4コンテンツ（3か国語対応）追加
- 経営図書館の書架増設
- ホームページのスマートフォン対応
- 監視映像システムのデジタル化
- 照明のLED化（図書館、事務室など展示室以外）
- 松下資料館創設30周年（令和6年度）に向けた企画・準備

令和5年度の金融情勢は、4年度と同様、為替、株価ともに不安定な状況と見ております。よって、利金収入は、下降局面も踏まえて推定し、その他収入の確保（講話収入等）と効率化によるコスト削減にさらに注力して経営の良化に努めてまいります。

その上で、老朽化した、或いは、デジタル化対応が必要な設備の更新、松下資料館の付加価値向上への投資（新規映像等）は、将来を見据えて、しっかりと実施してまいります。

< I 経営研究事業 >

松下資料館は多目的な“研究の場”として、松下哲学の勉強会や日本的経営を中心とした研究会などを随時行なっております。それぞれ研究成果を本や研究レポートにまとめて発表してきました。



◎教養講座の実施

教養講座とは、豊かで幸せな社会を創るために役立つ考え方・知識・情報等を教養として学ぶ少人数制の公開講座です。

< 教養講座の企画コンセプト >

- ・松下幸之助哲学に学ぶ
- ・京都府管轄の公益財団法人として、京都の産業・文化に学ぶ

●今年度2回実施

- ・(第6回) 令和5年2月予定

講演テーマ：「松下幸之助とドラッカー」

渡邊祐介氏

(株) PHP 研究所 執行役員 PHP 経営理念研究センター代表

- ・(第7回) 令和5年8月予定

講演テーマ：「京都吉兆流 一流の仕事・一流の人材とは」

徳岡邦夫氏

(株) 京都吉兆 代表取締役社長

◎出張講演会の実施促進

諸事情により来館できないお客様に対応できるよう、出張講演会の提案を行ってまいります。

(ニーズ例)

- ・企業・団体のイベント等の一環として
- ・仕入先・業者さん・業界団体等の勉強会・研修会として
- ・社員教育や組合研修の一つの講座として

(過去の実績)

- ・2019年度 16回
- ・2020年度 7回
- ・2021年度 2回
- ・2022年度 1回 (見込み)
- ・2023年度 3回 (計画)

◎オンライン講話の実施

諸般の事情で松下資料館での講話を聴きに行けないといった要望にお応えし、ZOOM等を使用したオンラインによる講話の依頼を、積極的に受けてまいります。

(ニーズ例)

- ・遠方のためなかなか行けない
- ・社内や関連団体のメンバーを一同に集めて来館するのが難しい
- ・大人数のお客様を連れて行きたいが受け入れ可能な人数を超えてしまう
- ・新型コロナウイルスのために団体として来館できない

(過去の実績)

- ・2020年度 0回
- ・2021年度 1回
- ・2022年度 12回 (見込み)
- ・2023年度 10回 (計画)

< II 展示事業 >

展示コーナーでは、グラフィックパネルを用いて、松下幸之助の“行き方・考え方”を紹介しております。さらに映像ブースでは、松下幸之助とその教えを受けた人々の映像を日本語、英語、中国語、の3ヶ国語で視聴することができます。



◎新しい映像の導入

1. 庭園シアターで視聴できる新しい映像「感謝の心」を完成いたします。
 - ・ 2022年12月予定。
 - ・ 日本語・英語・中国語・韓国語の4か国語対応。
2. 映像ブース用映像を4点追加いたします。
 - ・ 2023年9月予定。
 - ・ 日本語・英語・中国語の3か国語対応。

◎第10回「新入社員 合同学びの会」の実施

2023年4月に実施。中堅企業・公共団体の新社会人に向けて、松下幸之助の仕事観・人生観を講話や映像視聴等で学んでいただく会です。

◎関連先との連携強化

松下資料館と関係の深い企業・団体（パナソニック、PHP 研究所、松下政経塾、SMBC 日興証券 等）との連携を強化し、松下幸之助哲学の普及とファンづくりを行なってまいります。

- (例)
- ・ お得意先との関係強化の一環として
 - ・ セミナーや研修会の講座の一つとして利用
 - ・ 新卒者向けの会社・入塾説明会の一環として利用
 - ・ 学生へのインターンシップの一環として利用

<Ⅲ 経営図書館事業>

経営図書館では、現代経営に役立つ図書館を目標に、その関連資料を収集しております。松下幸之助がこれまでどのようなことを述べてきたかを知りたいとき、日本的経営の源流を知りたいとき、あるいは経営者の経営理念をじっくり研究したいときなど、経営、ビジネスの面から幅広く活用することができます。



◎書架の増設

蔵書数の増加に伴い、書架を新たに増設します。

◎経営者執筆本・会社社史の充実化

経営者執筆本・会社社史の蔵書といった全国的にも特徴のある図書館として、さらに充実化を図ってまいります。

- ・ホームページでの継続的な寄贈の呼びかけ
- ・社史編纂請負会社への寄贈依頼
- ・来館された企業幹部への声かけ

○ 令和4年7月末現在 蔵書数

全蔵書数 21,687 冊

(内) 経営者執筆本 2,634 冊

会社社史 3,610 冊 (2,266 団体)

<IV その他活動>

◎ホームページのスマートフォン対応の実施

ホームページをスマートフォンでご覧になれる方が急増していることを受けて、スマートフォン仕様のバージョンを作成いたします。

◎監視映像システムのデジタル化

現在使用中のアナログ監視カメラシステムが老朽化してきているため、デジタル仕様のカメラおよびシステムに変更いたします。

◎セキュリティ・安全強化

1. 受付エリアの安全性強化

セキュリティ機器の導入と安全対策運営を強化いたします。

2. 非常時退避ルート確保のために館内の扉を増設いたします。

3. 監視カメラを増設します。

4. エレベーターホールの照明を、現在より明るい機器に変更します。

5. AED 機器を更新します。

◎松下資料館創設30周年の企画・準備

令和6年度に松下資料館創設30周年を迎えるにあたり、記念イベントの企画およびその準備を行います。

以上